

「子ども重点見守りデー」を推進 地域ぐるみで安全を確認

皆さんが治安の良さを実感できる社会づくりを目指そうと、県と警察では、子どもの安全・安心を強化する活動に力を入れています。

この一環として、全小学校区単位で、保護者や見守り隊などが、一斉に子どもの見守り活動を実施する「子ども重点見守りデー」を推進。10月30日(火)に三国南小学校区(坂井市)で行われた活動には、西川知事も参加し、児童の下校の安全と一緒に見守りました。



敦賀港に韓国・中国航路が新規就航 地域経済への波及効果に期待

日本海側拠点港・敦賀港は、年間コンテナ貨物取扱量が、平成24年も過去最高となるなど、近年、大幅に利用が拡大しています。

11月9日(金)には、敦賀港と中国とを結ぶ外国貿易定期コンテナ航路が6年ぶりに就航しました。

当日の記念式典では、西川知事が、「中国・韓国との取引の利便性が向上し、新しい輸送需要を掘り起こすことができる」とあいさつし、地域経済への波及効果に期待を示しました。



総合防災訓練等を開催 陸海空で防災力を強化

地震、津波による大規模災害の発生を想定した県総合防災訓練・緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練を、11月9日(金)と10日(土)に、テクノポート福井とその周辺(福井市・坂井市)で開催しました。

9日は、両市沿岸地域の学校の児童生徒や企業の従業員等、約1100人が参加して津波避難訓練を行いました。

また、10日には、消防、警察、自衛隊、海上保安庁、医療機関等の防災関係150機関、約1400名が参加して実践的な救助・救援・救護活動を展開。加えて、福井国家石油備蓄基地でも大規模火災への対応訓練を実施しました。

「県幼児教育支援センター」を開設 健やかな成長を支える教育拠点に

子どもたちの「学力・体力日本一」の福井県。規範意識や人間関係力をさらに高めようと、県では、ゼロ歳から18歳までの「福井型18年教育」のスタート期である幼児期の教育を推進しています。

この一環として、11月20日(火)、ユー・アイふくい(福井市)に、「県幼児教育支援センター」を、新たに開設しました。

センターでは、保育士や幼稚園教諭、小学校教諭が一緒に学ぶ研修、講座を県内各地で実施。また、保護者や祖父母による家庭教育を支援する教材づくりも行うなど、円滑な小学校進学につなげる幼児教育の実現を目指しています。

